

鎮西学院だより「シャロン」

2018. Vol.7

Sharon

2018 年度 学院目標聖句
「^た立^{しんり}て、^{おび}真理^{こし}を^し帯^しとして^し腰^しに^し締^しめ、
^{せいぎ}正義^{むね}を^あ胸^つ当^つてとして^つ着^つけ、
^{へいわ}平和^{ふくいん}の^つ福音^{じゅんび}を^{はぎもの}告^{はぎもの}げる^{はぎもの}準備^{はぎもの}を^{はぎもの}履^{はぎもの}物^{はぎもの}としなさい。」

エフェソの信徒への手紙 6 章 14-15 節

歴史ある鎮西学院は、
土台のしっかりした、
非常に可能性がある学院です。

学校法人鎮西学院 学院長 姜 尚中

Profile

1950(昭和25)年熊本市生まれ。国際基督教大学(ICU)助教授、東京大学社会情報研究所助教授、同教授、同大大学院情報学環現代韓国研究センター長などを経て、2013(平成25)年から同大名誉教授。2014(平成26)年から1年間、聖学院大学学長を務め、現在は熊本県立劇場理事長兼館長を務めている。2016(平成28)年から学校法人鎮西学院教育顧問として学院の運営に関わり、2018(平成30)年4月1日鎮西学院学院長就任。著書に「母-オモニー」、「心」、「悩む力」、「リーダーは半歩前を歩け」など。

教育界の先達として
広く共感を集める姜尚中氏が、
2018(平成30)年4月1日付で
第27代鎮西学院 学院長に就任。
今の思いや今後の考えについて
語っていただきました。



学院の成立ちに心ひかれて 明日へと繋ぐ役割を

教育の現場で、メディアで、作家として、さまざまな分野で活躍を続ける中で、鎮西学院学院長という重責をお引き受けになられました。かなりお悩みになられたとか。

「逡巡を重ねましたが、理事長を含めて学院の方々の熱意にほだされたということ、中興の祖でもある千葉先生のエピソードを知って非常に感銘を受けたということ、それと一昨年の8月の平和行進に参加させてもらって、この学院の持ついる数奇な運命に何か心に引っかかるものがあった、それを非常に大切にしたいと思ったこと、そうしたことから、学院130数年の歴史の火を、たいまつを次の世代にバトンタッチしたいという気持ちになりました」。

「私は、あくまでも繋ぎだと思っています。野球で言えばリリーフです。でも、リリーフだけ、それは決して軽い意味で言っているではありません。野球でいけば、勝敗が分かれるのは、リリーフがどうだったのかということだと思います。だから、学院の歴史の中で27代目、謙徳というか陰徳と言うか、そういう風な形で任期を終えられればいいかなと。リリーフとして、本格的なピッチャーが出てくるためのしつかりとした地盤を準備する。私には、そういう役割があると思って引き受けました。ある意味で、リリーフだけでもすごく重要な役割だと思っています」。

キリスト教、平和、教養を礎に 文化力を育み続ける

時代の動きを敏感に読み取り、実績を

積み重ねてこられた。そんな学院長への期待は、当然のことながら高まります。

「今の時代、みんなに漂流しているような意識があると思います。船をしつかりと係留する艦綱みたいなもの、土台になるものがないまま漂っています。誰もがどこに行けばいいかわからない時代に、鎮西学院は土台があるというとても理想的な状況です。キリスト教と平和、そして、教養に裏打ちされたプロフェッショナルなものを学生に与えていく、この3つが土台



としてしつかりあるので、大学を中心にしてこの学院は存続できると思っています」。他にはない鎮西学院の魅力や武器を見出し、アピールすることが望めます。さらには、時の流れとともに価値観も変わってきています。

「今は、定常型社会ともよく言われています。つまり、成長がフラットな状態に移行していった、常識が問われる時代になります。常識というのは良心ということ。

こうした状況でいけば、人の価値を生み出すもの、それは目に見えない価値としての文化だと思っています。広い意味での人間力というのは、文化力。その文化力はどうやって育成されるのか。それは小手先では難しく、しつかりとした土台がないところには育ちません」。

文化力が問われ、教養教育、一般教育は、これまで以上に重要になってくるようです。

「鎮西学院は幼稚園、高校、大学とあって、それらを支える土台になるものがあります。基盤があつて、非常に可能性のある学院だと思っています」。

改革的な保守という姿勢で 連携を築いていく

時代の要請にも応えていく必要があるのでしょうか。以前は偏差値優等社会一辺倒でしたが、社会自体が変わってきているように思えます。

「伝統と革新ということがよく言われますが、歴史を自慢するだけではどうしようもないですし、かと言って培われてきたものを抜きに時流に合わせていけば、どこかに漂泊してしまいます。そういう点では、僕はいい意味での改革的な保守であつてほしいと思います。従来型のことをやつていけばいいというのは、限界にきていると思います。鎮西学院はどういう学院なのか、物差しや社会のあり方がシャッフルされていくような、そういう時代の持っている本来のミッションにもう一回新しい光を与えてあげればよみがえれると思います」。

これから鎮西学院は動いていく、アクションを起こしていくということでしょうか。

「まず、高大連携をしつかりと進めていきたいと思っています。具体的には、内部進学率を30%ぐらいに持っていきたいです。学院全体から見ると、高等教育機関である大学が出口になります。出口である大学に入りたいから、高校に行きたいとか。そういう風になつてくれば、非常に好循環が生まれるわけです。そして、長崎県や九州の高校とも連携を深めていきます」。

さらにその先に見えてくるものがあります。

「今、大都市思考が強いわけですが、数年以内にこの流れは少しずつ逆流するのではないかと考えています。それを考えれば、やっぱり地域社会をしつかり支えていく人材というのは必要になってきます。地域とともに歩んでいく大学の持つべきミッションはまだこれからあります。可能ならば自分のポジションの持つべきメリットを最大に生かしながら、これから3年間を過ごしたいと思っています」。

インナーサークルにいるから見えないものとインナーサークルから離れているから見えないものがあつて、ただインナーサークルにいればいいというわけではないと語る学院長。多角的な視点でのリーダーシップのもと、大いなる希望が広がっていくことでしよう。



『牧平年廣記念野球場竣工にあたって』

学校法人 鎮西学院
理事長 栗林 英雄

狭い野球場を、何とか野球部員達が思いつきり伸び伸びと練習出来ないかと長年苦慮しておりました。

創立135周年を機に改修計画を協議し、現在地に他チームを招き練習試合が出来る方法がないかを検討し、その結果ホームベースをレフト側に移設し、崖を削り一応の面積確保ができる設計を為し、具体化に向け結論付けを致しました。

当初の設計は両翼95メートル・中堅110メートル・ダグアウト・夜間照明・防球ネット・雨天練習場・監督室等でありました。尚、内野には鹿児島産の黒土を敷き、透水性を良くする計画でした。

さてそこで、工事費用の調達ですが、上記すべてを施工するとなれば、おおよそ2億5千万円の工事費であります。現状の予算では到底賄える金額ではありません。どうすれば出来るかを考え悩みぬいた挙句、第一期工事では雨天練習場と監督室を除いた工事を、優先的に行うことに致しました。

ただそれでも、工事費・設計料・消費税で約2億円を要す見積となりました。この資金調達をどのようにすればよいのか。一時はこのプロジェクトを断念しようと思ひ悩みました。

しかし、野球部員達が狭い野球場で一生懸命練習に取り組む姿を目の当たりにし、又、余談ではありますが、部員全員が学校周辺の清掃を自主的に行っている姿を見ると、己のこのプロジェクトを断念しようとする弱い心を恥じ、何としてもやり遂げなければならないという想いにかれたのであります。

またまた、2018年9月校友会福岡支部総会において、校友の皆さんにこの窮状をお話しし、支援のお願いをしたところ奇跡が起きました。工事費用を寄付しようとお声かけがありました。その方は、牧平年廣(鎮西学院中学・高校卒/野球部OB)氏でした。

これは牧平先輩の強い愛校心と、後輩の部員達のひた向きの努力に対する深い愛情があります。筆舌に表せぬほどの感謝であります。

それからの打合せ等は、校友会福岡支部長の重松史郎氏にご尽力頂き、川村正徳前校長と度重なる協議の後、2017年11月着工、本年5月末に無事完成致しました。

この「牧平年廣記念野球場」の特長は他校に引けを取らない設備を要し、そして高校キャンパス内に野球場があること

です。

部員たちのその夢が実現し怪我の心配なく安全に練習ができ、部員の健康面を担保しながら人間性の成長を約する、総合的環境の野球場です。

私が総合的環境と表現したのは、単なる野球場の完成だけではありません。そこに鎮西学院の「敬天愛人」の心が活かされた真の教育の表れであります。

牧平先輩の篤志と強い愛情。そしてこの志を実現に向けて動いて頂いた重松支部長の熱い情熱であります。又、体調不良でありながら前面に立つてこのプロジェクト実現に向けて決意をし努力して頂いた川村前校長。多くの方々のご支援ご協力を頂きました。全てが神の導きによる母校愛の表れであります。

8月8日には竣工式を行います。又、後日有志の呼びかけにより、二期工事着工へ向け募金活動を立ち上げる所存です。

「牧平年廣記念野球場」完成にあたり、すべての方々に深く感謝申し上げますと共に、鎮西スピリットを再認識し、皆様と共に鎮西学院の発展に努めてまいります。





鎮西学院幼稚園



本園の
最新情報をHPに
掲載しています。

鎮西学院幼稚園

検索

園庭(滑り台)で遊ぶ年長児

今の時代だからこそ大切にしたい



園長 原田 裕子

今年度も神様のお守りのもと新しい出会いが与えられ感謝してスタートをしました。

入園当初はぶかぶかの制服に身を包み、親御さんと離れる際に泣いたり、不安いっぱいの表情で手を振っていた新入園児も、だんだんと笑顔で『行つてきまーす』と言えるようになってきました。

おうちの方とはしばらく離れる時間。幼稚園では同年齢の友だちと一緒に過ごし、これまでにない目新しい出来事や遊びの連続に、目を輝かせて生活をします。

次第に自分の大好きな遊びや場所、気の合う友だちが出来、それぞれが安心して過ごすようになり、園が第2の家ようになっていきます。

集団生活は楽しいことばかりではないですが、子どもは子ども同士、互いに学び合い成長し合っていくものです。

今の時代は核家族化・少子化だからこそ、幼稚園生活に深い意味と重要性を感じます。

さて、先日、保護者の皆様に集まっていたく懇談会がありました。その中で当園を選んだ理由のひとつとして、『保護者間の温かさ』が決めて『だった』という意見が複数ありました。

『皆さんに支えられて親子で成長出来ていることを実感している』という感謝のことは、園長として大変嬉しく光栄でした。園につながっていくくださる保護者の方々が、共に子育てをする温かい集団であることは園として何よりの宝物です。

人との交わりが希薄している現代の中で、大変貴重であり、子ども達にとっても、大変よい環境だと確信します。

子どもにとって若いお母さま方にとって温かく、人とのつながりのありがたさを感じられる場所として大切に守っていききたいと思います。



歓迎親子バス遠足(こどもの城へ)にて



入園式・入場する新入園児



入園式・「園生活の紹介」をする
在園児(年長組)



新年度を迎えて

主任 荒木 智子

今日も緑いっぱいの園庭に、子ども達のきらきら輝く笑顔と、楽しそうに遊ぶ元気な姿が見られます。

4月に入園式を迎え、生まれて初めての集団生活を送っている新入園児の子ども達。入園当初は不安で涙が出る子もいましたが、日々の生活の中で、保育者との信頼関係が自然に築かれ、自分の周りにいる友達存在に気づき、一緒に過ごす楽しさを味わうようになってきました。

一人ひとりペースは違いますが、少しずつ安心して自分を出しながら、園生活を送ることが出来るようになってきていると感じます。

昨年からの在園児の子ども達もひとつずつ上の学年になり、張り切って登園し、新入園児の世話をしたり、困っている友達に「だいじょうぶ？」と声をかける優しい姿が見られます。益々お兄さん、お姉さんらしくなり、頼もしさを感じます。

そのような場面に日々出会い、子ども達の優しさに触れるたび、子ども達の素晴らしいと神さまが私たちに愛する心を備えてくださっていることに気づきます。

「人間は神さまによって創造され、神さまに愛されている存在である」と聖書は教えています。

園に集まってくる子ども達も、保育

者である私たちも誰ひとり例外なく、神さまから生命を与えられ、毎日豊かに成長するようにと、生かされています。

また神さまは、かわいい子ども達一人ひとりに様々な違った才能や性格を与え、その子の個性にふさわしく成長するように、日々見守って下さいます。

私たち保育者は子ども達のありのままの姿を受け入れ、愛し、育んでいくとともに、子ども達には毎日の生活の中で、神さまに見守られ愛されていることを実感し、安心して園生活を送って欲しいと願います。

また保護者の方々とは、子ども達が健康で沢山の喜びの中に育っているよう、心を尽くし良い信頼関係を築き、大切な子ども達の心と体の成長とともに喜び合いたいと思います。



2018年度 教職員

いま出来ること

ひかりの会会長 上原規洋子

私には、長女、長男、次男と3人の子どもがいます。3人は、鎮西学院幼稚園の卒園生と在園児で、3才からお世話になりました。

振り返ると入園当初、まだ自分でも出来ない子どもを預けるのが心配な日々だったように思い出します。そんな新米ママの私に毎朝「大丈夫ですよ。」と笑顔で声をかけてくださる先生方に、安心して子どもをお願いできると思いました。

13年前に長女が入園した頃は、毎日弁当を持たせないといけませんでした。料理が苦手な私は毎朝大変でした。今ではお弁当の日が週2回。給食、パン、外注弁当などできるようになりました。近頃では、働くお母さんも増え、また未就園児を抱える家庭では、朝の家事の負担が少し軽減できているのではないのでしょうか。このような取り組みを行ってほしいのも、とても有り難い事です。手作りの弁当にはお母さんの愛情がたくさんつまっていると思いますが、愛情表現はもっと他の事でも補えると思います。お母さんが毎朝ストレスを感じず、笑顔で家族を送り出せる環境が大事ではないかと思っています。

幼稚園に入園して親子で初めて出会ったキリスト教保育。聖句、讃美歌、牧師先生のお話。私も日々の子育てを考えさせられ、心安らく時間でもありま

す。幼い頃から聴いて歌って育った子ども達は、ずっと頭の片隅で覚えているのでしよう。長女はキリスト教教育に親しみをもち、鎮西学院高校に入学しました。やんちゃ坊主だった長男ですが、周囲の方に「心が優しい。」とお褒めの言葉を頂いたこともあります。きっと、これもこの幼稚園の教育の賜物かと思っています。

そして、今年が親子共々最後の幼稚園生活。「いま自分に出来ること」それは、子ども達、そして、親として成長させてくれた幼稚園に感謝の気持ちを伝えたい。言葉で伝えるより、自分が先頭に立ち保護者の皆様と幼稚園を盛り上げていこうと思います。

今年度のひかりの会のテーマは、「笑顔」です。親同士がクラスの垣根を越えて挨拶し合ったり、笑顔で語り合ったりする事で、子ども達もみんな笑顔で仲良く楽しく過ごせると思います。子は親の背中を見て育つと思います。まずは子どものお手本になれるよう、親も日々成長していかなければなりません。

子ども達は、なんで？どうして？と聞いてきます。少しでも応えられるようにたくさんさんの事を親子で学んでいきたいと思っています。毎日を平和に幸せに過ごせる日々感謝しながら、一分一秒を大事に過ごしていきたいと思っています。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

紹

介



ひかり組

(年少児)

担任／江頭 弘美

今年度のひかり組は男児8名、女児4名の計12名でスタートしました。入園式の日からあつという間に3ヶ月が経ちましたが、子ども達の姿には随分と成長や変化が見られます。

入園当初は泣いていた子も少しずつ泣かずに登園できるようになり、今ではたくさんさんの笑顔が見られるようになりました。また、クラス全体を通しては、友達との関わりが増えていき、気の合う友達を見つけて一緒に遊んだり、友達の輪の中に入って遊ぼうとする姿が見られるようになりました。中には、自分の気持ちをうまく伝えられず、恥ずかしそうにしている子もいますが、自分から好きな車の玩具をこちらに走らせ、遊ぼうと合図したり、時々楽しそうに遊んでいる友達のそばに行き、仲間に入れてもらおうとする姿も見られます。

一日一日、遊びの一つ一つを通して新しいことを知り、発見し、考えたり挑戦したりしながら少しずつ成長していく子ども達ですが、日々、自分の(身の回りの)ことを頑張りが、集団のルールや人間関係を学んでいます。小さくてもお互いの良さに気付き、認め合える、これからのそんな子ども達であってほしいと思います。

さて、7月に入ってから子ども達達はプール遊びを楽しんでいます。毎日暑い日が続きますが、熱中症などに気を付けながら、思いきり夏を満喫してほしいと思います。また、8月には平和祈念日もありますので、平和について考えることも大切にしていきたいです。

子ども達には日頃から周りの人に目を向け、感謝できる子どもにも育ってほしいと願っています。これからも神様の御守りのもと、心と体をたくさん動かしながら元気に園生活を楽しんでほしいと思います。



ほし組

(年少児)

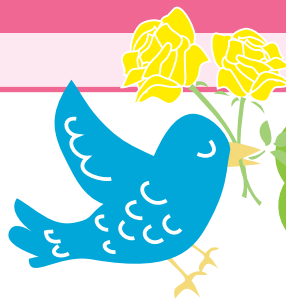
担任／橋本千亜紀

早いもので、入園からあつという間に三ヶ月が経ちました。入園当初は、初めてのお友だちやこれまでとは違った環境に戸惑いを感じ、不安で涙したり、お家の方の後を追う姿が見られていました。そんな子どもたちも日が経つにつれ、お友だちや担任に慣れ、安心して過ごせるようになりました。今では、朝から進んで身支度をしたり、登園してきたお友だちを出迎えに行ったりと、色々なことにワクワクしながら、笑顔で園生活を送っています。

クラスでは、「私も一緒に〇〇したい」「お弁当一緒に食べよう！」などの言葉がよく飛び交っています。一緒に大好きな子どもたちです。まだ幼いとはいえ、同じことで笑い合ったり、時にはケンカをしたりと、子どもの社会の中で一生懸命に過ごしているのだなと、日々感じています。

これから、現在12名のクラスに新しいお友だちが加わっていくことでしょう。そんな時に、新しい仲間を優しく受け入れることができるような温かいクラス作りをしていきたいと思います。

人生の中で最も大切なこの時期に、神さまに守られて過ごせることに感謝しながら、毎日礼拝を守り、お祈りしています。この日々の積み重ねが子どもたちの心を育てることに繋がると信じています。一年間、子どもたち一人ひとりが神さまのお守りの中、明るい笑顔で過ごせますよう、心から願っています。



にじ組

(年中児)

担任／宮前 寧々

今年度のにじ組は、女の子15名男の子12名計27名でのスタートでした。子ども達は進級できた喜び、名札や帽子がピンク色に変わったことに嬉しそうな気持ちでいっぱいでした。その反面、今までより人数が増え、友だちとうまく関わっていきけるのだろうか、新しい環境での生活に不安な子もいました。幼稚園に登園してくる時、ちよびり恥ずかしくて、うまく挨拶ができなかった子も今では、元氣よく挨拶ができるようになってきました。また、年少さんや新しい友達が増え、お兄さん、お姉さんという意識を持つようになり、困っている子を見ると優しく「大丈夫?」「どうしたの?」と声を掛ける姿や同じクラスの子が困っていると優しく教えてあげたり、片付けの時には子ども達も積極的に取り組み、友達と協力したり助け合う子ども達の姿を見てとても頼もしく思います。

毎日生活していく中で、にじ組で出会った友達とのコミュニケーションも徐々に増え、沢山関わりを持つている様子が見られます。友達がいる遊びを見て興味を持つと、積極的に「仲間に入れて」と言い男の子も女の子も混じり合って楽しそうに遊んでいます。また、自分の意見やおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うことも多くありますが、お互い素直に謝ったり許し合って、仲良く遊んでいる子ども達の姿も見られます。

この1年間で、にじ組の仲間と一緒に遊びや行事などこれから沢山経験し、学ぶことでもあります。その中で一人ひとりが友達を大切に、感謝する気持ちなどを育んでいきたいと思っています。神さまに見守られる中で、いろいろなことに挑戦し成長していくことでしょう。これから幼稚園生活を存分に楽しんでほしいですね。



そら組

(年長児)

担任／宮本あゆみ

4月に最年長クラスのそら組となり、年長としての自覚を持って、小さい子の世話をしたり、「そらくみだから!」を口癖に、何でも諦めずに頑張っている姿が見られます。

5月の学院内遠足では、年少さんとペアになり優しく手を繋ぎ、小さい子のペースに合わせて歩いている姿はとても微笑ましく、頼もしさを感じました。

また5月末には、高校の寮の横にある梅の実を採りに行き、翌日はその梅の実を使って梅シロップを作りました。1ヶ月漬けて、6月末に梅ジュースパーティーを開きました。みんなで作った梅ジュースは、暑い夏の疲れが吹き飛ばし、とても美味しかったです。他にも木工遊びをし、初めて釘打ちをしたり、運動会に向けて組体操やエイサーの練習も張り切って意欲的に取り組んでいます。

幼稚園最後のこの1年間は、年長でしかできない経験をして、沢山の思い出を作ること、また、自分が夢中になれることや得意なことを見つけたり、友だちと協力し合って一つの目標を成し遂げていく達成感を味わってほしいと願います。

これから先、市民クリスマスコンサートや年末の街頭募金活動など、園の代表として参加する行事もあり、学院の皆様にお会いする機会も多々あると思います。子ども達を見かけた際には、どうぞ励ましの言葉をかけてあげて下さい。子ども達の励みになり、きつと張り切つて頑張ると思います。

神さま、そら組の子ども達の1年間の成長と健康を見守っていて下さい。

「高等学校は今」

高等学校校長

川崎 健

高等学校長に就任して

10年間学校長をお勤めになられました川村先生の後を継いで、2018年度より新たに高等学校長を拝命いたしました。よろしく願っています。

今、日本は少子化が進み、特に地方都市においては、私立高校はもろんのこと、地域の名門の公立高校ですらも定員割れをするようになって来ました。そのような中で本校は、昨年度に続いて今年も定員の300名を超える334名の新入生を迎え、総勢898名の体制で新年度をスタートすることができました。その中には今年度から新たにスタートしたグローバルイングリッシュ(GE)コースの22名や、数多くの部活動生、4名の留学生もおり、非常に意識が高く、活気ある毎日を過ごしています。これは単なる偶然ではなく、少子化が進むことを見越してさまざまなことにおいて先手を打ち、全ての教職員が愛校心を持って努力をしてきたことが、認められてのことであるとと思っています。ただ、これを一過性のものにするのがないように、現状に満足せず、しっかりと地に足をつけ、更に上を向いて前進して行きたいと考えています。

私は、まず本校で教育を行っていく上で絶対に忘れてはいけないものは、学院の創立者であるC・S・ロング博士が唱えられた「品性高潔なるクリスチャンジェントルマンの育成」という建学の精神と、私の祖父でもあります第15代院長川崎 升先生が唱えられた「敬天愛人」の校訓であると思っています。

す。ここを離れて小手先だけの改革を行ったり、目先の利益だけを追求したような取り組みは、たとえ一時の成功を得たとしても、何の意味も持たないと思っています。この2つの偉大なる先人たちの思いからそれることがないように、あらゆるチャレンジをしていかなければならないと考えています。

そこで、まず具体的に「育てたい生徒像」と「目指す教職員像」を明示しました。

「育てたい生徒像」は「品性高潔で、自導自治の力を有し、目に見えない大切なものを見ることができるような生徒」とし、

「目指す教職員像」を「品性高潔で、生徒一人ひとりを愛し、教育活動を通して人生を教えることができるような教職員」としました。

次に、その理想を実現するための教育を行う上での教育方針を、以下の3つに定めました。

① Students First ② Believe Your Students! ③ We're Touching the Future!

①は私が教頭に就任して以来教職員の合言葉にしてきた言葉で、「教職員が自分の面子や建前よりも生徒の思いを優先し、本音で語り合える関係を作る」ということです。

②は単純に「生徒を盲目的に信じる」という意味ではなく、「それぞれの生徒が持つ可能性を信じる」ということです。高校生には無限の可能性があり、何をきっかけにして伸びていくかわかりません。だから、「どうせ：」とか「やつても：」などというネガティブな言葉は厳禁としました。

③は「我々教職員は、常に生徒のみならず、そのご家庭、鎮西学院、更には日本の未来を担っているのだという自覚と責任を持つ」ということです。

そして、このような変わることのない、ぶれることのない理念・理想・方針を基に、2018年度の合言葉を「飛躍」(Chinzei Breakthrough)としました。このBreakthroughという英語には「難局の打破」とか「科学などにおける」大きな進歩」という意味があり、最近ではスポーツでもあるときを機に急激に伸びたり、強くなったりする(???)をBreakthroughと表現するようになりました。だから、今年は2年連続で定員を確保したのみならず、非常に意識の高い生徒たちが集まっていると感じるので、学院にとつての一気に飛躍の年としたいということ、このような言葉を考えました。巨人軍の長嶋終身名誉監督もおっしゃっているように、「言葉は力なり」と私は思っているのです。最近では先生方や生徒たちもこのBreakthroughという言葉を経験的な場面で使ってくれるようになってくるのを見ると、その思いが伝わっていると感ぜられ、とても嬉しく思っているところです。

では、このBreakthroughを成し遂げるために、今年度本校がどのようなことに取り組んでいるかというところ、一言で言えば「他校との差別化」です。本校の強みや特性を活かし、他の学校では簡単にまねのできない以下のようなことをやっています。





うと考えています。

① 確かな進路保障・進路の3本柱の達成、

3 部門満遍なく対応できる指導力

1 国公立大学合格者6年連続30名以上
上合格(県内私立で第5位)

2 公務員・自衛官5年連続25名以上
合格(県内私立第1位)

3 就職率8年連続100%(詳しいデータはないので順位は不明だが確実にトップクラス)

この3部門のバランスの取れた進路保障は本校だけです。

② 部活動の更なる強化

2017年度の高校総体での獲得優勝旗4本(卓球男女・サッカー女子・駅伝男子)と県からのジュニアスポーツ強化指定校5クラブ(前述4部に加えバレー男子)は共に県内最多です。さらに、柔道女子も頂点を狙える位置にあり、バレー女子・バスケットボール女子・サッカー男子・柔道男子も県内ベスト8以上の力を有し、さらに女子駅伝は名監督の校友中島敏彦先生をお迎えした結果、有望な1年生が10名入部し、男女アベック優勝の可能性が高くなりました。また、牧平先輩のご尽力の結果、練習試合が開催可能な立派な野球場が完成したことにより、野球部の活躍も間近と思われる。

③ グローバル化の促進(以下の3点を強化する)

1 グローバルイングリッシュ(GE)コースの設立

「使える英語に特化したクラスを新設しました。定員15名に対し、22名(留学生2名/中学時代に英検準2級(高校中級程度取得済み9名含む)でスタートしました。既に先日イン

ドからの修学旅行団との交流会を実施し、活発な活動を行ってくれました。今年度だけでも後数校の海外からの学校訪問予定があり、学校の顔としての活躍を期待しています。

2 留学生の積極的受け入れ

2017年度は5名の留学生(中国・韓国・ベトナム・アメリカ・スリランカ)が在籍。2018年度は更に増えて7名(ベトナム3・中国2・韓国・フィジー)でスタートしました。10月からは更に複数名の0年生留学生(入学前にウエスレヤン大学で日本語の学習を行う生徒)が入ってきます。3年後には50名の留学生を迎えることを目指しています。

3 海外の学校との積極的な交流

従来からの姉妹校であるアップルビーカレッジ(カナダ)に加えて、昨年から上海の華東師範大学付属双語学校(バイリンガル(中英))との交流も開始し、5月に修学旅行団を受け入れて交流したに加え、12月に生徒会長松田さんを2週間の短期交換留学に派遣しました。さらに18年は私が2月にカナダ・アメリカ、5月に北京(中国)・ホーチミン(ベトナム)と学校訪問し、多くの学校との交流をスタートさせる予定です。

④ 確かな宗教教育ときちんとした生徒指導

「品性」をキーワードにして、他校では学ぶことのできないキリスト教の教えに従って、世界基準の指導を行い、信仰心と愛校心を育んでいきます。

本校には、137年の伝統の中で「鎮西のためなら」という心から学院を愛してくだ

さる方々(鎮西サポーター)が多数いらっしゃる、キリスト教という今の時代の日本にこそ必要な精神的支柱があり、同じ敷地内に最高学府の大学が存在し、全国にはキリスト教同盟の数々の大学を持ち、教科指導や部活指導、公務員指導、進路指導、保育指導、国際交流推進といった多方面にわたっての高い指導力を持つ教職員が多数存在し、公立よりも自由度が高く、人口減が長崎や佐世保に比べると緩やかな県央地区に位置している、といった数々の強み・利点があります。このようなことを最大限に活用しながら、諸先輩方から受け継いだこの学院を、しっかりとした形で次世代にバトンタッチできるように、微力ではありますがこれから頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



女子サッカー部

団体 **優勝** [8年連続8回目]

準決勝 鎮西 11-0 佐実
決勝 鎮西 11-0 島商
九州大会出場

女子卓球部

団体 **優勝** [3年連続30回目]

準決勝 鎮西 3-2 瓊浦
決勝 鎮西 3-0 長崎女子商業
ダブルス
優勝 3E I 富田・1B 山本
ベスト8 3D 渋谷・1A 粒崎
シングルス
3位 3E I 富田真帆
九州大会・全国大会出場(団体・個人)
(8/3~8/8 愛知県豊田市 スカイ
ホール豊田)

男子卓球部

団体 **準優勝**

準決勝 鎮西 3-0 長崎北陽台
決勝 鎮西 1-3 瓊浦
ダブルス
ベスト8 3D 田口・3E II 増山
シングルス
優勝 3E II 平島希望
3位 3D 田口健世
ベスト8 1E I 川原功太郎
九州大会・全国大会出場(個人)
(8/3~8/8 愛知県豊田市 スカイ
ホール豊田)

体操部

男子個人 **総合優勝**

男子個人
総合優勝 3A 金澤昂星
女子個人
4位 3C 大谷萌衣
九州大会・全国大会出場(男子個人)
(8/2~8/6 静岡県静岡市 静岡
県草薙総合運動場体育館)

男子バレーボール部

団体 **準優勝**

準決勝 鎮西 2-0 長崎南山
決勝 鎮西 0-3 大村工業
九州大会出場

女子バレーボール部

団体 **ベスト8**

3回戦 鎮西 2-0 上五島
準々決勝 鎮西 0-2 九州文化学園

女子バスケットボール部

団体 **ベスト4**

4回戦 鎮西 76-68 佐世保東翔
3位決定戦 鎮西 60-71 西海学園

男子陸上部

男子トラック 4位
5000m 優勝 2B 花尾恭輔
(九州大会・全国大会出場 三重県伊勢市)
3位 3D 田中智也
7位 3D 森本翔太
800m 準優勝 2K 中里太一
3000mSC 5位 2A 山田蓮太

柔道部

女子団体 **3位**

2回戦 鎮西 2-0 長崎商業
準決勝 鎮西 0-2 五島

個人女子

70kg級 2位 2J 有川さくら
70kg級 3位 1J 中村美颯
52kg級 3位 3D 田村千代

個人男子

73kg級 ベスト8 2B 開田 瞳
81kg級 ベスト8 2F 原 啓一
90kg級 ベスト8 3F 山本恭大朗
九州大会出場(個人のみ)



2018年度 高校総体 各部活動戦績

優勝！ 女子サッカー部

女子卓球部

準優勝！男子卓球部

男子バレーボール部



2017年度 進路合格状況

進学主任 緒方興治郎

●国公立大学合格者 **32**名 (5年連続30名超)

広島大学総合科学部
熊本大学医学部
長崎大学薬学部
長崎大学経済学部
長崎大学環境科学部
長崎大学教育学部
佐賀大学教育学部
佐賀大学芸術地域デザイン学部
北見工業大学工学部
秋田大学国際資源科学部
群馬大学理工学部
長崎県立大学経営学部

長崎県立大学地域創造学部
長崎県立大学国際社会学部
北九州市立大学外国語学部
下関市立大学経済学部
宮崎公立大学人文学部
名桜大学国際学部

など

●私立大学合格者 **139**名

青山学院大学 経営学部
明治学院大学 文学部
法政大学 法学部
西南学院大学 法学部

など

●公務員・自衛官合格者 **28**名

長崎市役所 大村市役所
長崎県警察 警視庁 海上保安学校学生

など

進 学

5年連続国公立大学合格者30名以上!

今年度も32名の生徒が国公立大学への合格を成し遂げてくれました。今回特筆すべきなのは、その32名の中には一般進学コース及び商業科から4名の合格者がいることです。これはそれぞれのコースの特性を生かし、入試に向けての指導プログラムを計画し、教師陣の熱心な指導と何よりも生徒自身が精一杯努力した結果だと思えます。鎮西学院では、国公立大学進学コースだけでなく、一般進学コース、商業からの国公立・有名私立大学への進路指導を充実させていきたいと考えています。

また、国公立大学進学コースでは、夕方補習、土曜補習、難関大学対策講座(パワーアップセミナー)、学習合宿などこれまでの取り組みをさらに充実させ、生徒の幅広い進路選択に応じた指導を行っていききたいと思います。

最後に、今年度よりグローバルイングリッシュコースが開設されました。このコースからも国公立大学、難関私立大学、また直接海外の大学への進学など、「生徒の夢をかなえられるコース」として充実した教育プログラムを提供していきます。

公務員・自衛官

4年連続25名以上が合格

公務員講座の開講後12年目となった2017年度は、長崎市役所と大村市役所のダブル合格を出すなど、4年連続で着実に結果を残すことができました。また、過去に講座を受講していた卒業生も皇宮護衛官や警察官などに合格することができました。2018年度は普通科公務員コースの2期目として23人の新入生を迎え、さらなる指導体制の強化を進めていきます。

一般就職

7年連続就職率100%達成!

全国的に求人状況は上向いてきているものの、県内の有効求人倍率は1.45倍(平成30年3月)と全国ワースト1位でした。その中であって、一般就職希望者22名全員の就職を決定することができました。

長崎大学

薬科学科



吉岡 響 さん

(飯盛中出身)

高1のときから長崎大学薬学部を志望し、そのために部活動と勉強を両立させながら頑張ってきました。教科担当の先生から丁寧な添削指導をしていただき、第1志望の大学に合格することができました。本当に感謝しています。



熊本大学

医学部 保健学科



小田 恵李花 さん

(北諫早中出身)

高3になり皆が勉強を本格的に進めていく中で私が意識したのは、他の人がしていない時間も学習に取り組むことでした。日常生活の中での隙間時間を無駄にせず、大事に使うことができた。



長崎大学

環境科学部



神 真由 さん

(山里中出身)

勉強と部活の両立をしたいと思い、鎮西学院に入学しました。2年生からは学習時間を確保するため寮生活を始め、毎日平日2時間半の学習会に取り組みました。受験に関しては得意教科を伸ばす作戦を実践しましたが、予習や小テストなどをおろそかにしないことが大切だと思います。



宮崎公立大学

人文学部国際文化学科



鬼塚 理央 さん

(森山中出身)

高3では、家族よりも長い時間をクラスの人々と共に過ごし、塾や予備校生にも負けないくらいの学習時間と先生方の手厚いご指導を受け、自分の自信になりました。私が合格することができたのは一人の力ではないのだと感じています。



佐賀大学

教育学部小中連携教育コース



清水 将貴 さん

(東部中出身)

私は前期試験で失敗してしまいましたが、あきらめず後期試験に向けて気持ちを切り替え何とか合格を勝ち取ることができました。暗記科目は特に時間や努力を要すると思うので早めに取り組み、自分なりの学習スタイルを確立することが大事だと思います。



「長崎ウエスレヤン大学は、今」

学長

佐藤 快信

入学式(4月1日(土)開催)を終えた留学生を含む新入生たちも、小鳥たちさえずりと緑に満ちたキャンパスのなかで学生生活を謳歌しています。志願者数・入学者数も少しずつではありますが増えてきて、高校生の期待に応えることができつつあるのかと思います。恒例の国際交流イベントの「第15回 メイ・フェスタ」(5月20日開催)は、諫早市イングリッシュキャンプに参加した地元中学生たちも参加し大いに盛り上がるものとなりました。

2017(平成29)年度を振り返りますと、カリキュラム改革の3年目にあたる2017年度は、各学科のキャップストーンとなる3年次専門科目「コミュニティサービスラーニングⅢ」が開始され、ディプロマポリシーの具体化と、学生のキャリア開発に向けた取り組みがなされました。グローバル化への対応では、引き続き、キャンパス内での国際交流、交換留学や海外CSPなどのプログラムへの学生の積極的参加・参画を促し、「国際的に有為な社会人」に必要なシティズンシップを養成する機会を多く設け31名の学生が参加しました。また、従来のタイ、フィリピン、カンボジアにおける海外CSP、スタディツアーに加え、アジア5地域(韓国・中国・台湾・マレーシア・日本)の大学間交流

協定「AU+」により、マレーシア・ベルジャヤ大学との新たな短期海外プログラムを開発したインターンシッププログラムでは、2週間の語学クラスと2週間のインターンシッププログラムをおこない6名の学生が参加しました。また、2月には、昨年から交流が再開したテネシー・ウエスレヤン大学を私、川崎教頭、斎藤国際交流委員長、濱崎国際交流委員の4名(役職は、当時)で訪問し、高校も含めた語学研修プログラムの開発をおこない、C・S・ロング博士の墓参もしてきました。

2017年度卒業生の進路達成状況は、就職率…86・45%(内訳…一般企業33人、福祉関係18人、県内36人、県外15人)でした。福祉関係国家資格合格率は、社会福祉士合格者5人合格率 31・32%、精神保健福祉士合格者数7人合格率100%、ダブル合格者数5人83・3%でした。また、主な就職先…(株)親和銀行、(株)浜屋百貨店、(株)メモリード、丸高商事(株)、一般



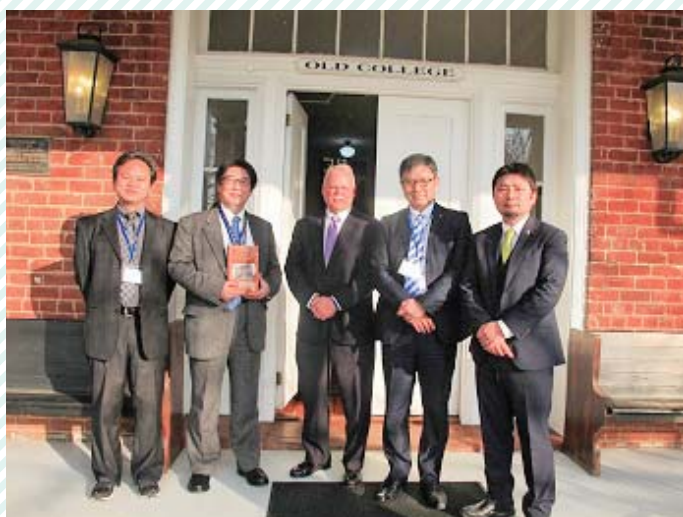
CS ロング博士のお墓

財団法人 大村市文化スポーツ振興財団、諫早市社会福祉協議会、熊本総合病院、青山商事(株)など、進学先(大学・大学院)…クイーンズランド大学大学院、長崎大学大学院、長崎県立大学大学院でした。

2014(平成26)年度より実施している文科省委託事業「成長分野の中核的専門人材養成事業」を通して、観光地域づくり人材養成をテーマに、雲仙温泉観光協会等との産学連携のもと進めるなど社会人の学び直しプログラムとして、公開講座の開催、eラーニング教材の開発にも取り組まれました。また、諫早市教育委員会との連携により、諫早市内の中学生対象のイングリッシュキャンプによる英語教育に継続的に取り組みました。

中小企業家同友会諫早支部様とは、産学連携委員会を中心に学生に対する講演、さらには経営者が求める人材について保護者懇談会での講演など昨年度から多くの支援を頂いています。

学術研究では、「第3回全国観光学専攻学生発表会」を開催しました。



テネシー・ウエスレヤン大学 学長を囲んで

2017年度は、タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」、タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」、タイプ4「グローバル化への対応」に加え、タイプ5「プラットフォーム形成」も選定されました。この結果、特別補助と私立大学等教育研究活性化設備整備費の助成を受け、語学情報センターのPC、アクティブラーニング対応の教室設備の整備をおこないました。

今後とも、地域から信頼される、地域になくてはならない大学づくりに邁進いたしますので、これからもご支援頂きますよう、お願い申し上げます。



メイフェスタを通じて

外国語学科3年

西沢 葵

こんにちは、外国語学科3年西沢葵です。今年のメイフェスタは5月19日(土)に開催されましたが、天候は前日まで雨で悩まされました。しかし、当日は快晴で催すことが出来ました。

「メイフェスタ」とは、アジアを中心とした国々の異文化を体験しながら国際交流できる長崎ウエスレヤン大学の目玉行事のひとつで、毎年5月に開催されます。様々な国の留学生が中心となって各国の料理を販売し、ダンス、歌などを披露してくれるのです。年々内容が充実している気がします。

私にとっては今回で3回目となるメイフェスタでしたが、例年以上に活気溢れるイベントでした。

今回のメイフェスタで販売された料理は全部で8種類—そのうち、3種類がカレーというまさにカレー好きにはたまらないイベントでした。中には、インド、ネパール、タイと3種類とも買って、食べ比べをしている人もいました。一番人気はネパールカレーでした。ステージにおいて印象的だったのは、参加した学生が一体となったダンスです。屋外で踊っているのに、まるでクラブで踊っているかのような熱気と高揚感が溢れる音楽とダン

スは、間違いなくイベントの空気を盛り上げていました。

今回のメイフェスタは、これまでと比較して「積極的」であったと感じました。大学生ともなるとやはり恥じらいが出てしまうのは仕方ないかもしれませんが、今回のメイフェスタではほとんどの学生が楽しく盛り上がり、その活気が来て頂いた地域の方々や出店してくださった方々に伝染し、今まで以上の盛り上がりになったのではないかと感じます。

例年と共通していることは、学生が「協力的」であることです。私は、主に指示を出していたのですが、一人一人が率先してテーブルや椅子を運ぼうとしたり、ステージ撤去の際も学生が協力したおかげで早く終わったのではないかと思います。

最後に、今後もメイフェスタに限らず、様々なイベントにおいて学生自らが「自分たちのイベントだ」という意識を持って、楽しさを発信できるような大学にしていきたいと今回のメイフェスタを通じて思いました。



卒業生の進路状況

2017年度(2018年3月卒)卒業生の進路決定状況

●卒業76人 ●就労者54人 ●就職希望者59人 ●進学者5人(大学院・専門学校等) ●その他12人(帰国等)

就職決定率 **91.5%**

就職先 県内39人 県外15人
一般企業(公務員・教職含む)36人
医療福祉18人

過去3年間の就職決定率

2014年度 **91.5%** 2015年度 **94.2%** 2016年度 **87.5%**

進学・留学先

長崎大大学院、長崎県立大学大学院、ウィーンズランド大学大学院他

主な就職先

(株)親和銀行、(株)浜屋百貨店、青山商事(株)、丸高商事(株)、(株)ドラッグストアモリ、(株)メモリード、(一社)大村市文化・スポーツ振興財団、ごとう農業協同組合、井手雅康税理士事務所、雲仙観光ホテル、(財)国際研修協力機構加盟PWJ協同組合、諫早市社会福祉協議会、雲仙市社会福祉協議会、熊本総合病院、横尾病院、姉川病院、社会医療法人井上病院、佐賀医療センター好生会、(社福)みのり会、(社福)南高愛隣会、(社福)普賢学園 他

卒業生トピックス

2018年3月卒



花田 萌

鎮西学院高等学校出身
社会福祉学科卒業
社会福祉法人南高愛隣会

大学時代は、社会福祉士、精神保健福祉士の資格取得を目標にしていました。中でも、4年間で経験した実習は私を一回りも二回りも成長させてくれました。現在は、社会福祉法人南高愛隣会で生活支援員として、重度の障がいをもつ方の暮らしの支援をしています。大学時代の学びや実習で経験したことが今の仕事にとっても活かされていると実感しています。毎日の支援が発見の連続でその1つひとつが学びにつながっています。今後は利用者さんが楽しみをもって、住み慣れた地域で安心して生活をおくれるような支援をしていきたいです。



廣渡 隆馬

長崎県立西陵高等学校出身
経済政策学科卒業
親和銀行久留米支店

長崎ウエスレヤン大学を卒業し、社会人の一員となって2ヶ月が経ちました。

私は親和銀行久留米支店に配属となり現在は窓口業務を任されています。毎日新たなことを覚えていかなければならず頭がパンクしそうになりますが、支店の雰囲気は良く上司や先輩、パートの方々が親身になって1つ1つ丁寧に教えてくださるので向上心を持って楽しく仕事に励むことができています。

また、県外へ就職となり親元を離れて生活をする中で責任感や社会人としての自覚がより一層強くなったと感じています。親への感謝を忘れず1日でも早く一人前の行員となって恩返しができるよう毎日の仕事を精一杯取り組みようと思っています。



鎮西学院平和祈念式典のご案内

鎮西学院では、毎年学院行事として平和祈念礼拝を捧げ、献水・献花式を執り行っています。今年も例年どおり下記日程での実施を予定しております。

どなた様もご出席頂きたく、ここにご案内申し上げます。

8月9日(木) 午前9時20分 平和祈念礼拝(鎮西学院講堂)
午前10時30分 献水・献花式(慰霊碑・平和祈念碑前)

学校法人鎮西学院 理事長 栗林 英雄
院長 姜 尚 中

学院人事異動

姜尚中氏 学院長・理事に就任
南慎郎氏 法人事務局長・理事に就任
川崎健先生 校長・理事に就任
川村正徳氏、鈴木勇次氏、重松史郎氏、長谷川渉氏が理事に就任

学校法人鎮西学院の理事・監事 2018年6月20日現在

役職名	氏 名	役職名	氏 名
理事長	栗林 英雄	理 事	川村 正徳
院 長	姜 尚 中	理 事	鈴木 勇次
理 事	佐藤 快信	理 事	重松 史郎
理 事	川崎 健	理 事	森 俊介
理 事	原田 裕子	理 事	黒田 隆雄
理 事	南 慎郎	理 事	長谷川 渉
理 事	西 嗣也		
理 事	中野 伸彦	監 事	井手 雅康
理 事	鐵口 宗久	監 事	渡瀬 寛

2018年度新規採用者 2018年4月1日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
白武 義治	大学・教員	諸隈まり子	大学・職員
礪本 光広	大学・教員	吉川 幸治	高校・教員
フレイク・リー	大学・教員	水浦 昂	高校・教員
登り山和希	大学・教員	土山 浩一	高校・教員
白石 晃三	大学・教員	赤石 恵太	高校・教員
波名城 翔	大学・教員	菖蒲 航	高校・職員
林田 朋子	大学・教員	羽根田充弘	高校・職員
庄嶋久美子	大学・職員		

2018年度退職者 2018年3月31日

氏 名	所 属	氏 名	所 属
森 泰一郎	本部・院長	山口 聖孝	大学・職員
加藤 育男	本部・事務局長	光武佐和子	大学・職員
高山 乾忠	大学・教員	川村 正徳	高校・校長
矢島 邦昭	大学・教員	田中 次郎	高校・教員
入江 詩子	大学・教員	早田 靖夫	高校・教員
ゲイル・ポール	大学・教員	山口 尚寛	高校・教員
廣田 悦子	大学・教員	菊池 康	高校・教員
佐藤 茂春	大学・教員	坂田 修	高校・職員
樋口由起子	大学・教員		

2018年度昇格者 2018年4月1日

氏 名	所 属	新職位	旧職位
齊藤 仁志	大 学	教 授	准教授
加藤 久雄	大 学	教 授	准教授
吉野 浩司	大 学	准教授	助 教
岩永 耕	大 学	准教授	助 教
小島 諭	大 学	入試広報課長	課長補佐
齋藤 州澄	高 校	教 頭	教 諭

鎮西生が考えた
想像以上。
新しいオープンキャンパス！



スタンプラリーがあるよ！

第1回 7/16 (祝・月)
●授業体験 ●制服紹介
●キャンパス探検 ●個別相談会 など

第2回 7/31 (火)
●部活動体験 ●学校説明会
●個別相談会 など

入試説明会
第3回 10/20 (土)
●体験チャペル
●入学試験について
●個別相談会 など

鎮西学院高等学校
オープンキャンパス
入試説明会
時間 各日
9:30~12:00
(受付9:00~)

『想像以上』に会いに来て！

CHINZEI GAKUIN
OPEN CAMPUS 2018

学校法人 鎮西学院
鎮西学院高等学校

〒864-0686 長門県津和野町西宮1-2-1
TEL 0927-26-1234 FAX 0927-26-1237
E-mail ptc@chinzeigakuin.ed.jp
http://www.chinzeigakuin.ed.jp



Go!Go!
OPEN CAMPUS !!

先輩をCHECK★
ゼミ研究をCHECK★
キャンパスライフをCHECK★



交通費を一部サポート！
諫早駅から無料送迎バスあり！

7/29 (日)
11:00~15:00

8/5 (日)
11:00~15:00

8/18 (土)
11:00~15:00

長崎ウエスレヤン大学



QRコードから事前申込
当日参加もOK

鎮西学院幼稚園 2019年度 園児募集

●5歳児 ●4歳児 ●3歳児
※年度途中満3歳に達したお子様の入園有

・入園願書受付
11月1日(木)より



入園説明会 10月13日(土) 10時

★2018年度 園児募集中
(満3歳・3歳・4歳・5歳)

未就園児親子あそび

- ◎おひさまくらぶ(2歳児以上対象・月2~3回)
- ◎おひさま&グリーンクラブ(1歳児以上対象・月1回)

預かり保育(延長保育)

- ◎保育終了後~18:30
- ◎春夏・冬休みも実施
(8:00~18:30)

給食もあります

- 月曜日……全員給食
- 火・木曜日…パン給食
(希望制)



鎮西学院創立137周年記念

池上彰氏講演会

「池上彰のニュースから

世界を読み解く」



入場
無料

日時

2018 10/28 日

14:00～(13:00より開場)

会場

シーハット
おおむら
メインアリーナ

〒856-0836 長崎県大村市幸町25-33
TEL:0957-20-7200

プログラム

13:00 開場
14:00 挨拶
14:10 講演・池上彰氏
15:10 対談・池上彰氏
～姜尚中学院長
15:40 質疑応答
15:50 終演

※駐車場に限りがありますので、
公共の交通機関を御利用ください。

ジャーナリスト 池上 彰 (いけがみ あきら)

1950年長野県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。NHK入局。松江、呉での勤務を経て、東京の社会部。11年間「週刊こどもニュース」に出演。2005年にNHKを退局。現在はフリージャーナリストとして新聞、雑誌、テレビなど多方面で活躍する傍ら、名城大学、東京工業大学、立教大学などで教鞭をとる。主な著書に「伝える力」(PHP研究所)、「書く力」(朝日新書)、「おとなの教養」(NHK出版新書)など。

学校法人鎮西学院学院長 姜 尚中 (かん さんじゅん)



1950年熊本県生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。2013年東京大学名誉教授。2018年4月学校法人鎮西学院学院長に就任。NHK Eテレ「日曜美術館」司会をはじめ、多くの討論番組やトーク番組に出演している。主な著書に「母・オモニー」(集英社)、「心」(集英社)、最新刊「維新の影」(集英社)など。

【応募方法】応募フォーム・はがき・FAXのいずれかよりお申込み下さい。

「21世紀活字文化プロジェクト」内のイベント情報にある応募フォームか、はがき・FAXでお申し込みください。

はがき・FAXの場合は下記必要事項①～⑤を明記の上お申し込みください。

①鎮西学院聴講希望 ②郵便番号・住所 ③氏名・年齢 ④職業 ⑤電話番号

【お申込み先】

- 応募フォーム <https://katsuji.yomiuri.co.jp/> 内にて「鎮西 聴講」で検索
- は が き 〒100-8055 (住所不要) 読売新聞東京本社 活字文化推進会議事務局
- F A X 03-3217-4309

※講演会の定員は「2,000名」です。※応募者多数の場合は抽選となります。※当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。(10月中旬までに到着するよう発送します。)
※お申し込みは1枚につき1名でお願いいたします。※座席は全席自由席です。※応募いただいた個人情報事務局にて厳正に管理し、聴講券の発送のみに使用いたします。

講演会のお問い合わせは | 活字文化推進会議事務局 TEL:03-3217-4302(平日 午前10時～午後5時) ※8月1日からの問い合わせとなります。

【主催】

学校法人

鎮西学院

◎鎮西学院幼稚園

◎鎮西学院高等学校

◎長崎ウエスレヤン大学

・大村市

・活字文化推進会議

【主管】読売新聞社

【共催】(一社)大村市観光コンベンション協会 /
(一財)大村市文化・スポーツ振興財団

学院広報戦略室 / TEL.0957-26-8200 (代表)

〒854-0082 長崎県諫早市西栄田町1212-1
www.chinzei-gakuin.jp

学校法人 鎮西学院 | 検索

「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「むくげ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌Ⅱ192番 "Jesus, rose of Sharon" Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H. Gabriel 1922

表紙写真 牧平年廣記念野球場

学校法人

鎮西学院

〒854-0082 長崎県諫早市西米田1212-1

TEL 0957-26-8200 URL <http://www.chinzei-gakuin.jp/>

鎮西学院幼稚園

TEL 0957-25-1231

FAX 0957-25-1257

URL <http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp>

鎮西学院高等学校

TEL 0957-25-1234

FAX 0957-25-1237

URL <http://chinzeigakuin.ed.jp/>

長崎ウエスレヤン大学

TEL 0957-26-1234

FAX 0957-26-2063

URL <http://www.wesleyan.ac.jp>

鎮西学院だより「シャロン」
2018. Vol.7

発行日／2018年7月10日

編集・発行／鎮西学院広報戦略室

発行人／栗林 英雄(理事長)

編集長／上田 常雄(広報戦略室長)